

甚大な被害をもたらす 自然災害への備え

夏井川河口部の治水対策について

夏井川河口部は、平成18年ごろから波浪による堆砂のために河口閉塞が恒常化し、河口開削工事を実施してもすぐに閉塞してしまう状況が続いています。

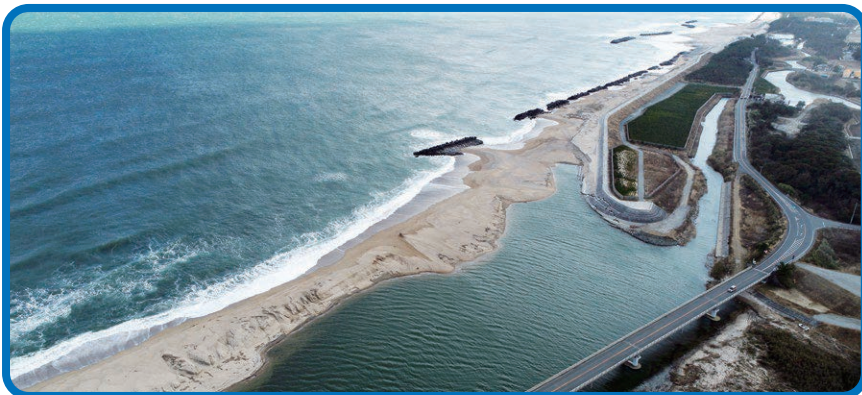
洪水時には、河口付近のみならず夏井川下流域全体に、災害発生のおそれもありますことから、閉塞解消に向けた治水対策の本市の考えについて、あらためて質問いたしました。

これまで抱えてきた河口閉塞による問題点

河口部は、堆砂による河口閉塞が平成18年頃より慢性化している状態で、閉塞による水の流れは、左岸で合流している仁井田川へ逆流し、台風や大雨時には、夏井川の水位上昇に伴い、仁井田川においても高水位の状態が長時間にわたり続き、河川堤防への負担がかかる状態です。

これまでの河口閉塞対応は

県は、平成20年度から試験的に逆流防止策として、仁井田川の閉め切りや、河口部の離岸堤設置などを実施し、台風などの大雨が予想される前に、河口部の堆積土砂を撤去する開削工事を実施していますが、数日で再び閉塞する状況です。



新たな閉塞解消に向けた取組みは

県は、平成29年度に「夏井川河口部治水対策技術検討会」を設置し、国の専門家や学識経験者の意見を取り入れながら検討を重ね、対策工として、支川として夏井川に合流する仁井田川への水門設置や、仁井田川の堤防の嵩上げなどを行うこととし、翌30年度には新規事業化が決定、平成31年3月には、仁井田川の堤防嵩上げ工事に着手しました。

今回の河口部治水対策の効果を市は、どのように捉えているのか

河口部の治水対策の効果については、仁井田川に設置される水門により、大雨時には夏井川本川の流れが海に向かい、閉塞解消が図られ、また、仁井田川の堤防の嵩上げとの一体的な完成により、河口部全体の安全性が高まり、洪水被害軽減の効果が期待されます。

市としては、沿川にお住いの皆様の安全・安心の確保を図るため、引き続き、期成同盟会と連携し、事業が円滑に推進されるよう、取り組みたいと考えています。

流域住民の皆様の安全・安心を確保するため、対策事業の円滑な推進をしっかりと図っていただくよう要望します。



議会改革推進検討委員会において
議会基本条例(案)について会議



議会報告会等について正副議長に報告



前期の政策総務常任委員会開催前の様子



緊急避難地域について質問

あとがき

2月定例会の一般質問が終わって約2ヶ月、新型コロナウイルスの状況は大きく変わっています。市内でも感染者が出ていることから、市民の皆様の予防意識のさらなる向上が求められています。

無理な外出を避けることやマスクや手洗いの励行など、当初から言われている飛沫感染・接触感染への対策をしっかりとすることが大切です。一日も早く沈静化するように、ひとりひとりができることを頑張りましょう。

Afterword

西山かずみ プロフィール

昭和34年9月13日
(いわき市平生まれ)

- 公益財団法人ときわ会 常務病院 評議員
- 学校法人志向学園 かなや幼稚園 理事
- いわきバレーボール協会 参与
- 中神谷スポーツ少年団 顧問

Profile



<https://www.facebook.com/kaz2419>



Hatena Blog



nishiyamakazumi.hatenablog.com/

経歴

国立福島高専機械工学科卒
アルプス電気(株)東京本社入社
「タウン情報いわき」の(株)アドブラン入社
ときわ会グループ(株)シグマ入社
29才で総合広告代理店(株)デップを起業